

vCloud Director 9.7.0.1 for Service Providers リリースノート

vCloud Director 9.7.0.1 for Service Providers | 2019 年 5 月 16 日 | ビルド 13635483 (インストール ビルド 13634630)

このリリースノートの追加事項や更新事項を確認してください。

リリースノートの概要

このリリースノートには、次のトピックが含まれています。

- [システム要件とインストール](#)
- [ドキュメント](#)
- [vCloud Director 9.7.x for Service Providers の以前のリリース](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

システム要件とインストール

システム要件とインストール手順の詳細については、[vCloud Director 9.7 for Service Providers リリースノート](#)を参照してください。

ドキュメント

製品の完全なドキュメントセットを参照するには、[VMware vCloud Director for Service Providers ドキュメント](#)にアクセスしてください。

vCloud Director 9.7.x for Service Providers の以前のリリース

[vCloud Director 9.7 for Service Providers リリースノート](#)

解決した問題

- **外部の Microsoft SQL データベースを使用する vCloud Director をバージョン 9.7 にアップグレードすると、vCenter Server の登録または同期に失敗することがある**

外部の Microsoft SQL データベースを使用する vCloud Director インストールをアップグレードした後に、不透明ネットワークを含む vCenter Server インスタンスを登録または同期すると、次のエラーが発生することがあります。

一意のキー制約「uq_opaq_netw_inv_vc_id_net_id」に違反しています。重複したキーをオブジェクト「dbo.opaque_network_inv」に挿入できません。

vCenter Server インスタンスが NSX-T Manager に関連付けられていて、その NSX-T Manager でネットワークが作成されている場合は、不透明ネットワークが表示されます。

- **FQDN を使用して vCloud Director 9.7 にアクセスすると、SSL バージョン エラーとともに失敗する**

FQDN を使用して vCloud Director 9.7 にアクセスすると、「ERR_SSL_VERSION_OR_CIPHER_MISMATCH」エラーが発生します。これは、vCloud Director セルの SSL 証明書キーストアが HTTPS エンジンおよび PostgreSQL で共有されているためです。TLS プロトコルの Server Name Indication (SNI) 拡張機能によって適用される追加のセキュリティ対策により、共有 SSL 証明書は FQDN 形式の HTTPS 要求を処理できません。

- **仮想マシンの複数のディスクで同じストレージ ポリシーが使用されていない場合に、これらのディスクのある仮想マシンにアフィニティ ルールを追加すると失敗する**

仮想マシンのディスクの複数のディスクで同じストレージ ポリシーが使用されていない場合に、仮想マシンにアフィニティ ルールを追加すると、PlacementException NO_FEASIBLE_PLACEMENT_SOLUTION エラー メッセージが表示されて失敗します。

- **仮想マシンのハード ディスクを追加すると、ストレージ ポッドを選択する際に必要となるプロパティが設定されていないことを示すエラー メッセージとともに、失敗することがある**

仮想マシンの既存のハード ディスクがストレージ ポッド (SPOD) に配置されている場合に、新しい仮想ハード ディスクをデータストアに配置しようとする時、「StoragePlacementSpec で必要なプロパティ podSelectionSpec が設定されていません」というエラーが発生して、ハード ディスクの追加が断続的に失敗することがあります。

- **いずれかのスタンバイセルを新しいプライマリセルに昇格すると、vCloud Director セルが、失敗した古いプライマリ データベースに誤って接続されることがある**

reconfigure-database コマンドがバックグラウンドで定期的に行われて、サーバグループ内の vCloud Director セルが誤って設定され、元の失敗したプライマリセルまたはアクセスできないプライマリセルを参照することがあります。その結果、vCloud Director のセルは、ユーザーインターフェイスまたは REST API 呼び出しを処理できなくなります。

- **組織管理者が複数の vApp ネットワークを作成することができない**

組織管理者が複数の vApp ネットワークを作成することができません。また、HTML5 テナントポータルを使用して vApp をフェンスしたり、フェンス解除したりすることもできません。この問題は、組織仮想データセンター (VDC) ネットワークに接続されているフェンスされたネットワークがすでにある場合に、新しいネットワークを作成すると発生します。

- **vSphere 仮想マシンを vCloud Director vApp として組織にインポートすると、共有組織 VDC ネットワークが vApp ネットワークに変換される**

vSphere 仮想マシンをインポートすると、インポートは成功しますが、接続されている共有組織 VDC ネットワークは vApp ネットワークに変換されます。仮想マシンをパワーオンすると、次のエラーが発生して失敗します。この vApp に関連付けられた VDC には、この vApp を開始するために必要なネットワーク リソースがありません。

- **仮想マシンのコンピュータ名が 15 文字を超えている場合に、組織に vSphere 仮想マシンをインポートすると失敗する**

仮想マシンのコンピュータ名が 15 文字を超えている場合に、vSphere から仮想マシンをインポートすると失敗します。

- **テナントポータルの [マイクラウド] タブの仮想マシンのリストに仮想マシンが表示されない**
[マイクラウド] タブで仮想マシンを選択すると、[仮想マシン] タブに組織内の仮想マシンのリストが表示されず、Flex ユーザーインターフェイスが応答を停止します。

- **vCloud Director WebMKS コンソールからゲスト OS に Ctrl+Alt+Delete 入力が正しく送信されない**

vCloud Director WebMKS コンソールからゲスト OS に trl+Alt+Delete 入力を送信すると、コードが正しく送信されません。

- vCloud Director HTML5 ユーザー インターフェイスを使用している場合、NSX Data Center for vSphere 6.4.x 環境で IPsec VPN トンネルのメッセージ ダイジェストを設定できない**

vCloud Director HTML5 ユーザー インターフェイスを使用している場合、NSX Data Center for vSphere 6.4.x 環境で IPsec VPN トンネルのメッセージ ダイジェストを設定できません。NSX で SHA-256 ハッシュを有効にしても、ハッシュは vCloud Director によってデフォルトの SHA-1 ハッシュで上書きされます。
- vCloud Director アプライアンス セルで証明書の更新に失敗した後、データベースへの SSL 接続を有効にすると失敗する**

vCloud Director アプライアンス セルに証明書をインポートすると、新しい証明書の共通名が以前の共通名と同じである場合、インポートに失敗します。その結果、vCloud Director データベースへの SSL 接続を有効にすると、データベースの構成が次の例外で失敗します：

```
sun.security.validator.ValidatorException: PKIX パスの検証に失敗しました:
java.security.cert.CertPathValidatorException: 署名チェックに失敗しました。
```

既知の問題

- NEW:** 2つの vCloud Director アプライアンス サイトを関連付けると、オブジェクトがサイト間で表示されない

サイトに組織、組織 VDC、vApp、仮想マシンなどのオブジェクトがある場合は、サイトの関連付けを作成したときに、サイト間でこれらのオブジェクトを表示できません。HTML 5 ユーザー インターフェイスに内部サーバエラー メッセージが表示されます。この問題は、vCloud Director アプライアンスの /etc/hosts ファイルの内容が正しくないため、マルチサイト ファンアウト通信中に発生します。

回避策: なし

- NEW:** vCloud Director アプライアンスの展開中に、指定された OVF パラメータを使用してスタティック ルートを設定すると失敗する

vCloud Director アプライアンスの展開中に、指定された OVF パラメータを使用して固定ルートを設定すると失敗します。アクセス不能なシステム ディレクトリに関連したエラー メッセージが、vcd-ova-netconfig ログ ファイルに記録されます。

```
# cat /opt/vmware/var/log/vcd/networkconfig.log
find: './proc/852': No such file or directory
find: './proc/853': No such file or directory
find: './proc/854': No such file or directory
```

回避策: この問題の回避策の支援は、VMware グローバル サポート サービス (GSS) にお問い合わせください。

- **New:** セルの起動が断続的に失敗する

セル内で断続的に競合状態が発生することにより、起動に失敗し、cell-runtime.log ファイルに次のエラーメッセージが表示されます。

```
[com.vmware.cell.heartbeat.NonFatalHeartbeatException: org.hibernate.NonUniqueResultException: クエリが一意の結果を返しませんでした]
```

回避策: なし。

- **NEW:** vCloud Director アプライアンスの管理ユーザー インターフェイスの [昇格] ボタンとアプライアンス コンソールの repmgr コマンドが動作を停止する

この問題は、1 つ以上の vCloud Director アプライアンスで postgres ユーザー パスワードの有効期限が切れている場合に発生します。結果として、vCloud Director アプライアンス管理ユーザー インターフェイスの [昇格] ボタンで、データベース HA クラスタの選択したスタンバイ ノードを更新して新しいプライマリノードにするのに失敗します。一部の Replication Manager (repmgr) tool コマンドが、次のようなエラーと共に失敗します: ノードに SSH 経由で到達できません。起動時に、アプライアンスの OS コンソールに「[失敗] ユーザー マネージャの起動に失敗しました。」のようなエラーメッセージが表示されます。postgres ユーザー パスワードは、2019 年 7 月 9 日に期限が切れるように設定されています。

回避策:

postgres のユーザー アカウントのパスワードを無期限に設定します。すべてのアプライアンスで個別にコマンドを実行する必要があります。

1.vCloud Director アプライアンス OS に root として直接ログインするか、SSH で接続します。

2.次のコマンドを実行して、postgres のユーザー アカウントとパスワードが期限切れにならないように設定します。

```
chage -M -1 -d 1 postgres
```

3.設定が適用されたことを確認するには、コマンド chage --list postgres を実行します。

システム出力で、postgres ユーザー アカウントとパスワードが無期限に設定されていることを確認することができます。

- **New:** データベースのリストア プロセスを実行中に、再構成コマンドがエラーとともに失敗する

create-db-backup スクリプトには新しい etc/トラストストア ファイルが含まれていません。この結果、データベースのリストア プロセスを実行中に、再構成コマンドが次のキーストア エラーで失敗します。構成ファイルの読み取りまたは書き込みができませんでした: キーストアが改ざんされたか、パスワードが正しくありません。

回避策: この問題の回避策の支援は、VMware グローバル サポート サービス (GSS) にお問い合わせください。

- **NEW:** テナント ポータルの H5 ユーザー インターフェイスで共有されている直接組織 VDC ネットワークのプロパティを更新すると、仮想マシンまたは vApp で使用されていない場合には共有が解除される。仮想マシンまたは vApp で使用されている場合には更新が失敗する。

テナント ポータルの H5 ユーザー インターフェイスで共有されている直接組織 VDC ネットワークの共有の名前または説明を更新すると、ネットワークが共有されていて使用されていない場合は、その組織内の他の VDC で使用できなくなります。ネットワークが使用中の場合は、ネットワークが使用中であるというエラーメッセージと共に失敗します。これは、ユーザー インターフェイスが共有フラグを送信しないため、共有解除操作をトリガすることが原因で発生します。

回避策: Flex ユーザー インターフェイスを使用して、直接組織 VDC ネットワークのプロパティを更新します。

- **NEW:** 稼働中の既存の組織 VDC (仮想データセンター) ネットワークの状態が、vCloud Director テナント ポータルで稼働していないと表示される

vCloud Director のバージョンを 9.7.0.1 にアップグレードし、過去 1 か月の間に変更していない組織 VDC ネットワークがある場合、ネットワークの稼働状態は緑色ではなく赤色になります。

回避策:

- 隔離され、経路指定された組織 VDC ネットワークの場合: ユーザー インターフェイスで説明を更新するか、操作を毎月実行します。
- 直接ネットワークの場合: Flex ユーザー インターフェイスで毎月説明を更新します。

- **vCloud Director 9.1.0.3 から vCloud Director 9.7.0.1 へアップデートしてから、初めて vCloud Director Web コンソールで vApp を作成すると、失敗することがある**

Microsoft SQL Server データベースを使用している場合、vCloud Director Web コンソール (Flex ベースのユーザー インターフェイス) で、vCloud Director 9.1.0.3 から vCloud Director 9.7.0.1 へアップデートしてから、初めて vApp を作成すると失敗します。

回避策: HTML5 ベースのテナント ユーザー インターフェイスを使用して vApp を作成するか、vCloud Director Web コンソールを使用して vApp の作成を再試行します。

- **高可用性クラスタのスタンバイセルをプライマリセルに昇格すると、Nginx エラー画面が表示されることがある**

アプライアンス管理ユーザー インターフェイスを使用してスタンバイセルを新しいプライマリセルに昇格する際、プライマリセルまたはスタンバイセルがオフラインになっていると、ブラウザに次のエラーメッセージが表示されることがあります。 [An error occurred.Sorry, the page you are looking for is currently unavailable.Please try again later.If you are the system administrator of this resource then you should check the error log for details.Faithfully yours, nginx.]

回避策: ブラウザを更新します。

- **vCloud Director Service Provider Admin Portal で SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成できない**

vCloud Director Service Provider Admin Portal で SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成すると、vCloud Director Service Provider Admin Portal に再度ログインすることができません。

回避策: vCloud Director Web コンソールで、SAML の ID プロバイダを使用するようにシステムを構成します。

- **vCloud Director 9.7 では、vRealize Orchestrator ワークフローの入力パラメータのリストのみがサポートされる**

vCloud Director 9.7 では、以下の vRealize Orchestrator ワークフローの入力パラメータがサポートされます。

- boolean
- sdkObject
- secureString
- number
- mimeAttachment
- properties
- date
- composite
- regex
- encryptedString
- array

回避策: なし

- **vCloud Director でレガシーの自己署名証明書を使用している場合、SDDC プロキシにアクセスできない**

vCloud Director 9.7 へのアップグレード後、SDDC プロキシに接続すると、次のエラーメッセージが表示されて失敗することがあります: 検証エラー: num = 20: ローカルの発行者による証明書を取得できません。この問題は、vCloud Director 9.5 以前のセル管理ツールを使用して、自己署名証明書を生成した場合に発生します。

回避策: vCloud Director 9.7 にアップグレードしてから、自己署名証明書を再生成して更新します。

- **vCloud Director 9.7 (vCloud API v.32.0) へのアップグレード後、ブランディング OpenAPI 呼び出しを使用して追加したカスタム リンクが削除される**

vCloud API v.32.0 では、カスタム リンクに使用される UiBrandingLink というタイプは、タイプ UiBrandingMenuItem に置き換えられています。これらのタイプは、異なる要素があります。この変更は、後方互換性がありません。この結果、バージョン 31.0 以前の API 呼び出しは UiBranding オブジェクト内の customLinks の処理または設定を試行して失敗します。

回避策: API 呼び出しを新しいデータ タイプに更新します。

- **パワーオン状態にある仮想マシンのコンピューティング ポリシーを変更すると失敗することがある**

パワーオン状態にある仮想マシンのコンピューティング ポリシーを変更する際に、仮想マシングループまたは論理仮想マシングループが含まれるプロバイダ VDC コンピューティング ポリシーに新しいコンピューティング ポリシーが関連付けられていると、エラーが発生します。次のエラー メッセージが表示されます。基盤システムのエラー:

`com.vmware.vim.binding.vim.fault.VmHostAffinityRuleViolation。`

回避策: 仮想マシンをパワーオフしてから、操作をやり直してください。

- **Firefox で vCloud Director Service Provider Admin Portal を使用している場合に、テナント ネットワーク画面をロードできない**

Firefox で vCloud Director Service Provider Admin Portal を使用すると、組織仮想データセンターの [ファイアウォールの管理] 画面などのテナント ネットワーク画面の読み込みに失敗することがあります。この問題は、Firefox ブラウザでサードパーティの Cookie をブロックするように設定していると発生します。

回避策: Firefox ブラウザで、サードパーティの Cookie を許可するよう設定します。

- **VMware vSphere Storage APIs Array Integration (VAAI) 対応 NFS アレイ上、または vSphere Virtual Volumes (VVols) 上に作成されている高速プロビジョニングされた仮想マシンを統合できない**

ネイティブ スナップショットが使用されている場合、高速プロビジョニングされた仮想マシンのインプレイス統合はサポートされません。VAAI 対応データストアおよび VVols では、ネイティブ スナップショットが常に使用されます。高速プロビジョニングされた仮想マシンがこれらのいずれかのストレージ コンテナにデプロイされている場合、その仮想マシンを統合することはできません。

回避策: "VAAI 対応 NFS または VVols を使用する組織仮想データセンターで高速プロビジョニングを有効にしてはいけません。"VAAI または VVol のデータストアにスナップショットを持つ仮想マシンを統合するには、その仮想マシンを別のストレージ コンテナに再配置します。